

# 平成27年7～9月期結果(確報)の概要

## I 今期の概況

### 1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期（平成27年7～9月期）の業況判断D Iは (-)61.5 で、前期（平成27年4～6月期）(-60.3)に比べ、1.2ポイントの悪化。

② 来期の見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しD Iは (-)57.7 で、今期の業況判断 (-61.5)に比べ、3.8ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 — 調査産業計 —

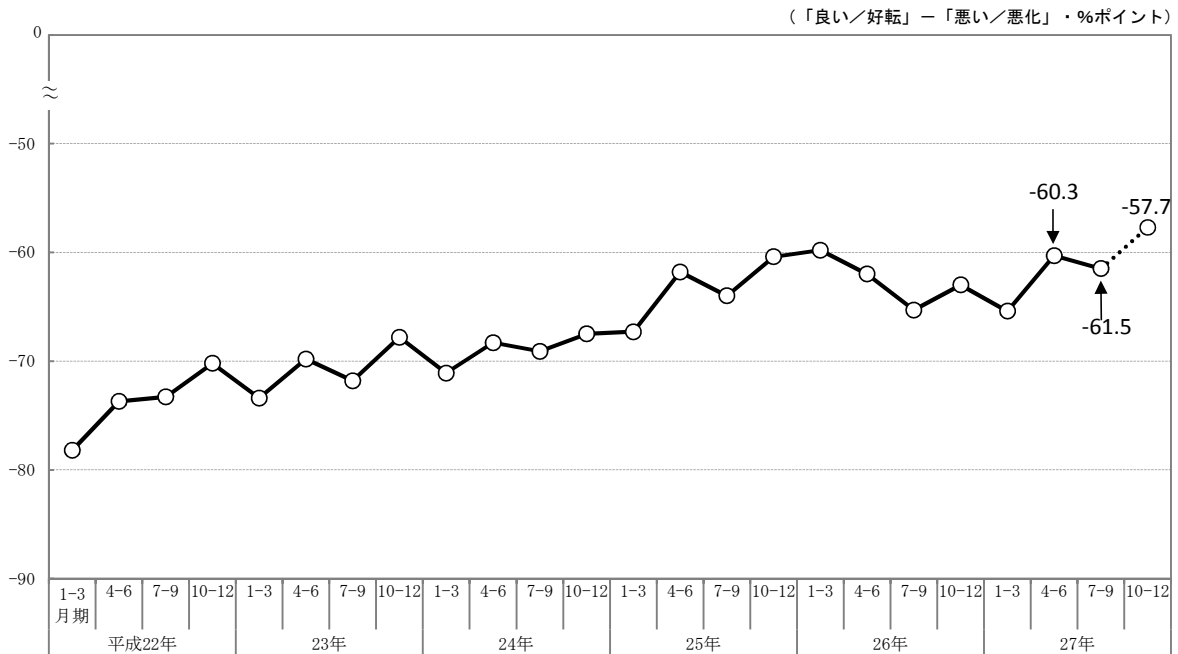


表1 業況判断の割合 — 調査産業計 —

	平成26年		27年			
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	2.9	4.0	3.1	3.5	4.0	3.1
普通/不変	28.9	29.0	28.4	32.7	30.4	36.0
悪い/悪化	68.2	67.0	68.5	63.8	65.5	60.8
D I	-65.3	-63.0	-65.4	-60.3	-61.5	-57.7
参考	日銀短観(大企業全産業計)	13	14	16	19	14
	中小企業景況調査(全産業計)	-28.3	-28.1	-29.7	-24.6	-24.7

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成27年10月上旬から中旬までである。

## 2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	231万円で、前年同期に比べ、0.2%の減少
□「卸売業、小売業」は	360万9000円で、前年同期に比べ、13.0%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	220万3000円で、前年同期に比べ、1.6%の増加
□「サービス業」は	121万5000円で、前年同期に比べ、1.2%の減少
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	67万5000円で、前年同期に比べ、7.8%の増加
□「卸売業、小売業」は	36万6000円で、前年同期に比べ、1.1%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	36万8000円で、前年同期に比べ、12.4%の減少
□「サービス業」は	44万6000円で、前年同期に比べ、3.0%の増加

※前年同期(平成26年7～9月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業			
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
実数 (千円)	平成25年	7～9月期	2,119	651	3,969	446	2,158	433	1,274	437	
		10～12月期	2,474	676	4,376	441	2,249	406	1,274	448	
	平成26年	1～3月期	2,293	654	4,007	463	2,018	341	1,102	352	
		4～6月期	2,131	613	3,981	431	2,154	402	1,210	456	
	平成27年	7～9月期	2,314	626	4,146	370	2,168	420	1,230	433	
		10～12月期	2,444	658	4,384	511	2,150	422	1,301	480	
	前年同期比 (%)	平成25年	7～9月期	-9.1	6.4	-5.5	3.0	-0.3	22.3	8.8	5.0
			10～12月期	-7.8	-11.6	-1.2	1.4	2.7	4.1	-1.3	-3.2
	前年同期比 (%)	平成26年	1～3月期	9.9	16.2	1.5	25.8	-1.9	-11.0	-10.6	-17.6
			4～6月期	-2.4	-2.7	1.2	8.3	3.2	-5.2	-13.9	-12.6
前年同期比 (%)	平成27年	7～9月期	9.2	-3.8	4.5	-17.0	0.5	-3.0	-3.5	-0.9	
		10～12月期	-1.2	-2.7	0.2	15.9	-4.4	3.9	2.1	7.1	
前年同期比 (%)	平成27年	1～3月期	-4.8	-9.0	-10.1	-14.9	1.2	9.4	11.3	12.2	
		4～6月期	15.7	9.8	-6.3	-0.7	-0.3	-9.2	9.7	2.9	
前年同期比 (%)	平成27年	7～9月期	-0.2	7.8	-13.0	-1.1	1.6	-12.4	-1.2	3.0	

## 3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	13万5000円で、前年同期(10万4000円)に比べ、増加
□「卸売業、小売業」は	8万6000円で、前年同期(8万5000円)に比べ、増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	15万9000円で、前年同期(7万7000円)に比べ、増加
□「サービス業」は	5万7000円で、前年同期(4万円)に比べ、増加
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	5.8%で、前年同期(4.5%)に比べ、1.3ポイントの上昇
□「卸売業、小売業」は	2.4%で、前年同期(2.1%)に比べ、0.3ポイントの上昇
□「宿泊業、飲食サービス業」は	7.2%で、前年同期(3.6%)に比べ、3.6ポイントの上昇
□「サービス業」は	4.7%で、前年同期(3.3%)に比べ、1.4ポイントの上昇

※前年同期(平成26年7～9月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成25年	7～9月期	139	6.6	81	2.0	78	3.6	45	3.5
	10～12月期	122	4.9	89	2.0	89	4.0	44	3.5
平成26年	1～3月期	116	5.1	83	2.1	87	4.3	73	6.6
	4～6月期	85	4.0	68	1.7	45	2.1	75	6.2
平成27年	7～9月期	104	4.5	85	2.1	77	3.6	40	3.3
	10～12月期	78	3.2	89	2.0	118	5.5	43	3.3
平成27年	1～3月期	111	5.1	109	3.0	47	2.3	37	3.0
	4～6月期	148	6.0	79	2.1	82	3.8	47	3.5
平成27年	7～9月期	135	5.8	86	2.4	159	7.2	57	4.7

## Ⅱ 業況判断

### 1 調査産業計

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年7～9月期）の業況判断D Iは（-）61.5 で、前期（平成27年4～6月期）（-60.3）に比べ、1.2 ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）47.2 で、前期（-40.8）に比べ、6.4 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成26年7～9月期）と比較した業況判断D Iは（-）51.5 で、前期（-49.7）に比べ、1.8 ポイント悪化した。

##### ② 来期の業況見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しD Iは（-）57.7 で、今期の業況判断（-61.5）に比べ、3.8 ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

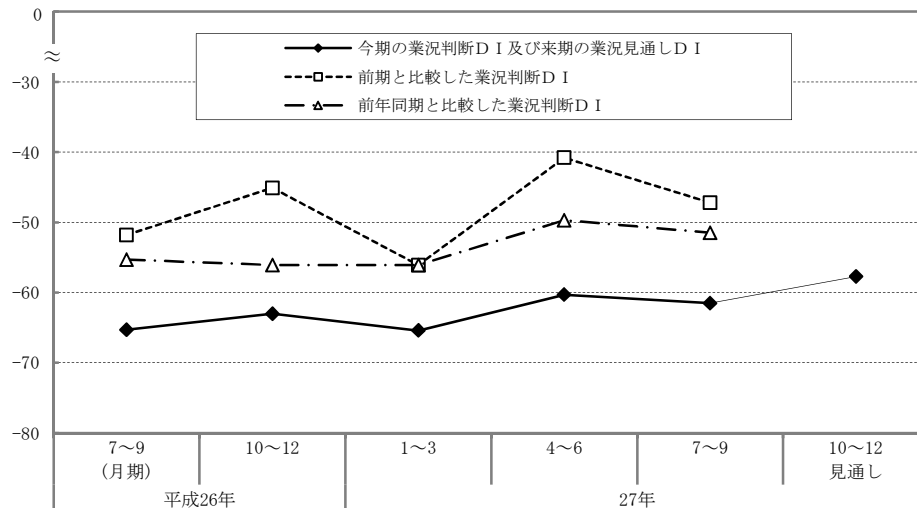
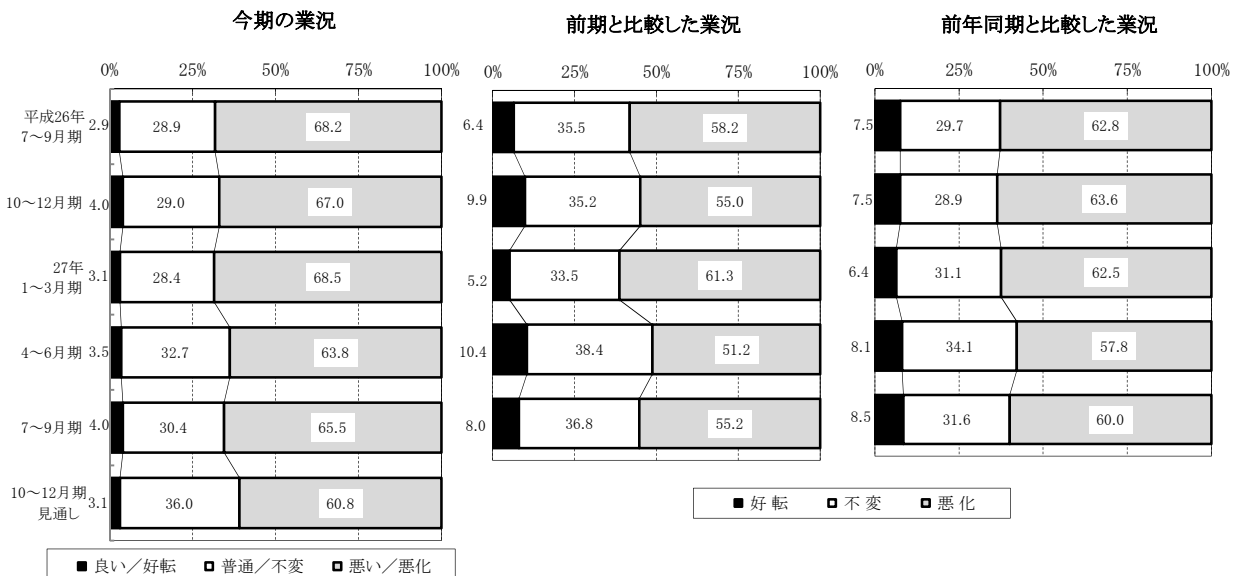


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



## (2) 売上の状況

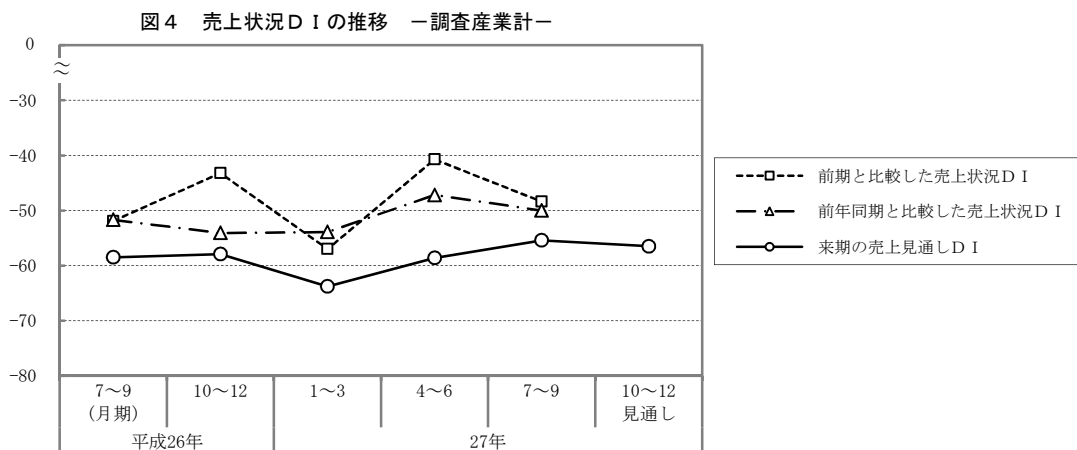
### ① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)48.4 で、前期 (-40.7) に比べ、7.7 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)50.0 で、前期 (-47.2) に比べ、2.8 ポイント悪化した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)56.5 で、前期における今期の売上見通し (-55.4) に比べ、1.1 ポイントの悪化の見通しとなっている。



## (3) 営業利益の状況

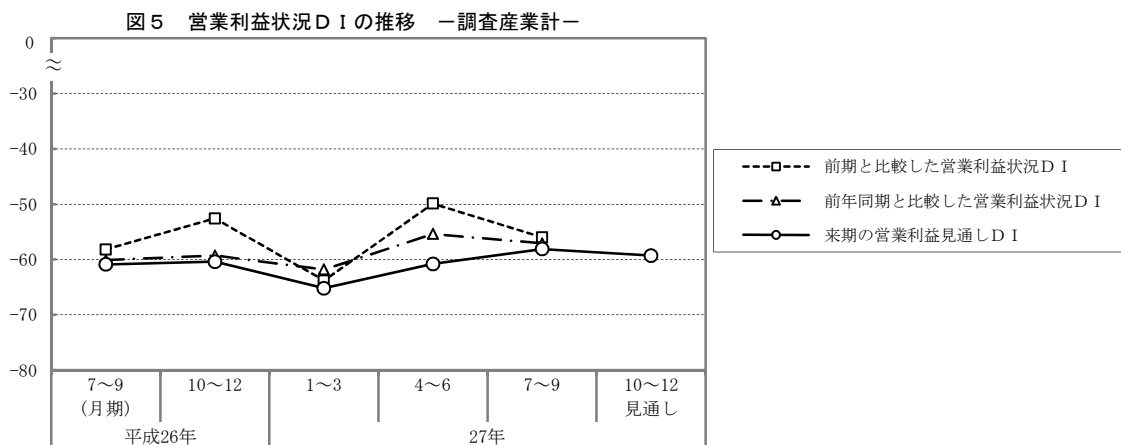
### ① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)56.0 で、前期 (-49.9) に比べ、6.1 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)57.1 で、前期 (-55.4) に比べ、1.7 ポイント悪化した。

### ② 来期の営業利益見通し

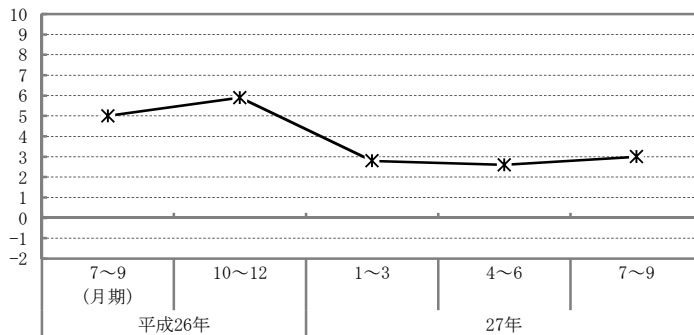
来期の営業利益見通しDIは (-)59.3 で、前期における今期の営業利益見通し (-58.1) に比べ、1.2ポイントの悪化の見通しとなっている。



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.0 で、前期 (+2.6) に比べ、0.4ポイント「過剰」が拡大した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

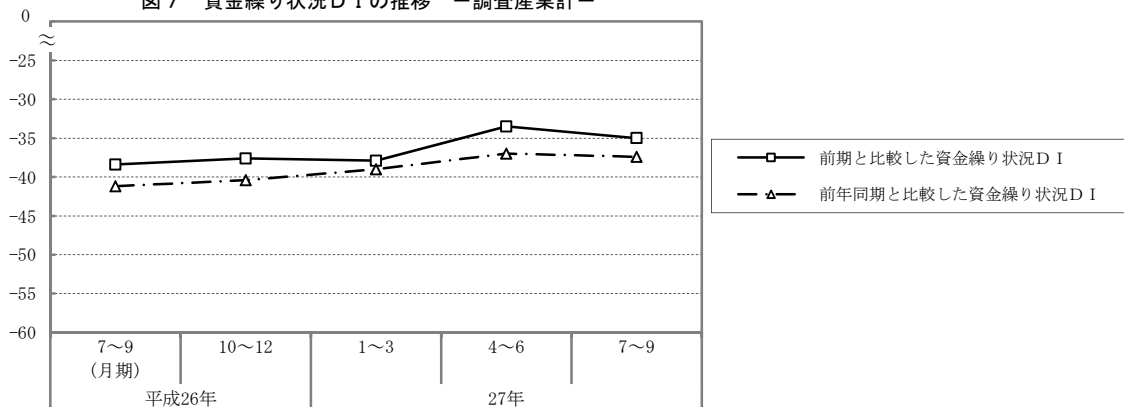


#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.0 で、前期 (-33.5) に比べ、1.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)37.4 で、前期 (-37.0) に比べ、0.4ポイント悪化した。

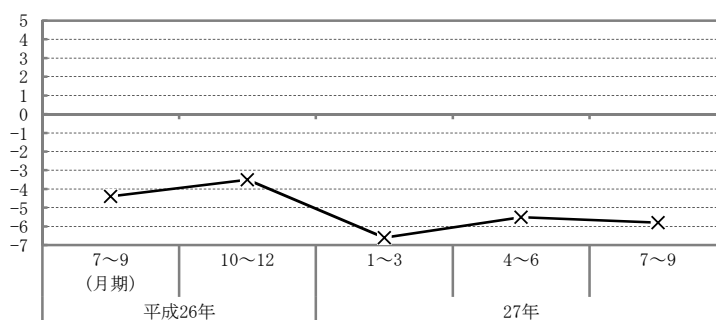
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)5.8 で、前期 (-5.5) に比べ、0.3ポイント「不足」が拡大した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



## 2 製造業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年7～9月期）の業況判断DIは（-）49.6で、前期（平成27年4～6月期）（-51.4）に比べ、1.8ポイント改善した。

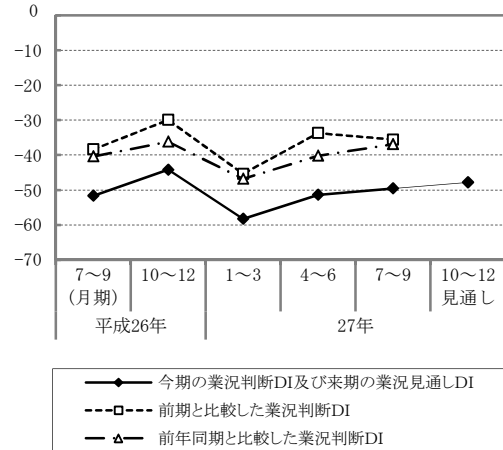
イ 前期と比較した業況判断DIは（-）35.6で、前期（-33.7）に比べ、1.9ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成26年7～9月期）と比較した業況判断DIは（-）36.9で、前期（-40.2）に比べ、3.3ポイント改善した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しDIは（-）47.8で、今期の業況判断（-49.6）に比べ、1.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移  
—製造業—



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

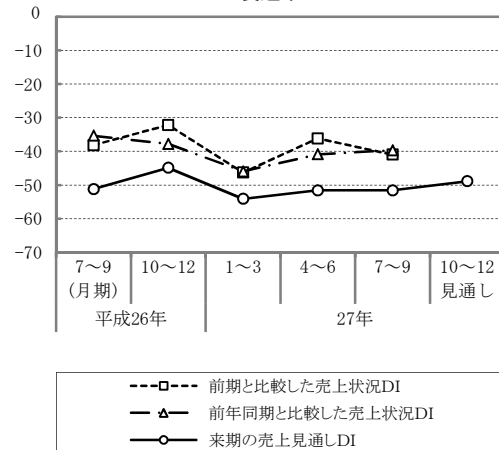
ア 前期と比較した売上状況DIは（-）41.0で、前期（-36.2）に比べ、4.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは（-）39.7で、前期（-40.9）に比べ、1.2ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは（-）48.9で、前期における今期の売上見通し（-51.6）に比べ、2.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移  
—製造業—



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

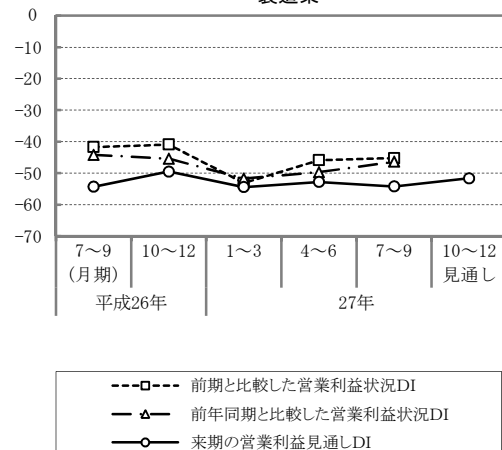
ア 前期と比較した営業利益状況DIは（-）45.2で、前期（-45.9）に比べ、0.7ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは（-）46.4で、前期（-49.7）に比べ、3.3ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは（-）51.6で、前期における今期の営業利益見通し（-54.2）に比べ、2.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移  
—製造業—



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)0.3 で、前期 (+1.3) に比べ、1.0 ポイントト「過剰」が縮小した。

#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)27.4 で、前期 (-29.6) に比べ、2.2 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)29.5 で、前期 (-33.0) に比べ、3.5 ポイント改善した。

#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)8.4 で、前期 (-7.2) に比べ、1.2 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

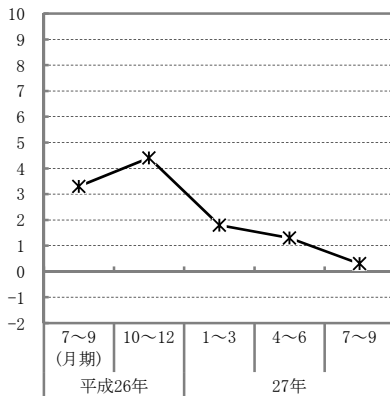


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

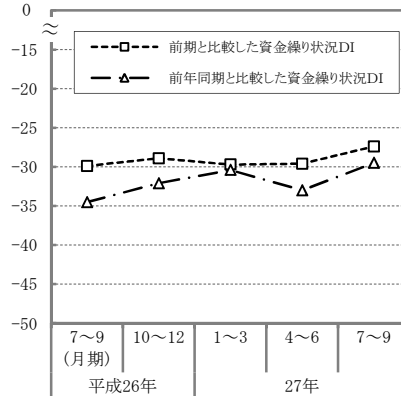
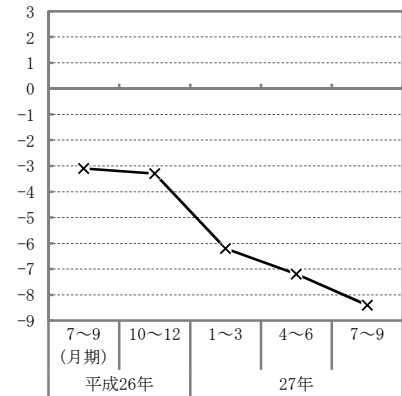


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



### 3 卸売業、小売業

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年7～9月期）の業況判断DIは (-)64.8 で、前期（平成27年4～6月期）(-64.2) に比べ、0.6 ポイント悪化した。

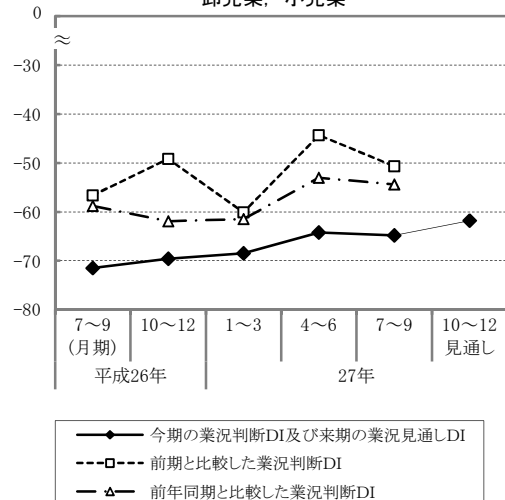
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)50.7 で、前期 (-44.3) に比べ、6.4 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成26年7～9月期）と比較した業況判断DIは (-)54.4 で、前期 (-53.0) に比べ、1.4 ポイント悪化した。

##### ② 来期の業況見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しDIは (-)61.8 で、今期の業況判断(-64.8) に比べ、3.0 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業、小売業-



## (2) 売上の状況

### ① 今期の売上の状況

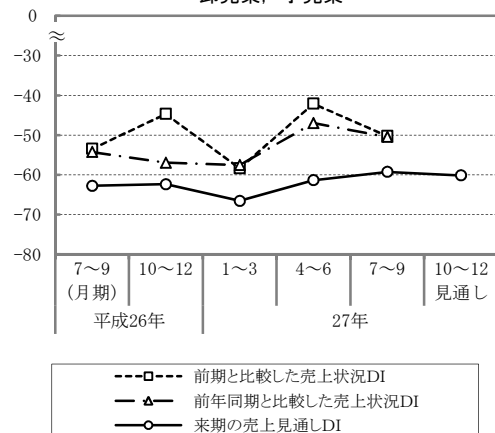
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)50.3で、前期(-42.1)に比べ、8.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)50.5で、前期(-47.0)に比べ、3.5ポイント悪化した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)60.2で、前期における今期の売上見通し(-59.3)に比べ、0.9ポイントの悪化の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (3) 営業利益の状況

### ① 今期の営業利益の状況

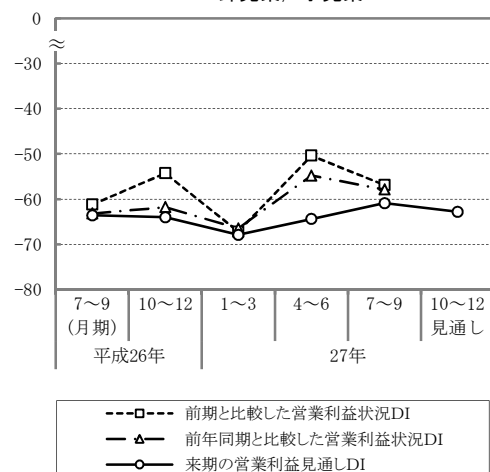
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)56.9で、前期(-50.4)に比べ、6.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)57.9で、前期(-54.8)に比べ、3.1ポイント悪化した。

### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)62.8で、前期における今期の営業利益見通し(-60.9)に比べ、1.9ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+ )6.3で、前期(+6.7)に比べ、0.4ポイント「過剰」が縮小した。

## (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)36.0で、前期(-33.9)に比べ、2.1ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)38.6で、前期(-37.9)に比べ、0.7ポイント悪化した。

## (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.6で、前期(-5.0)に比べ、0.6ポイント「不足」が拡大した。



図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業、小売業-

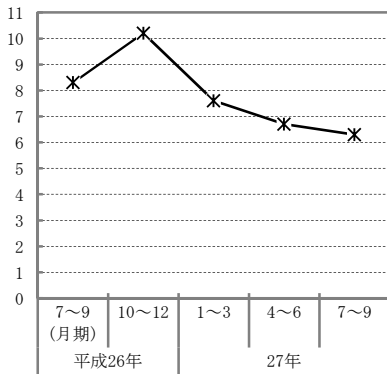


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業、小売業-

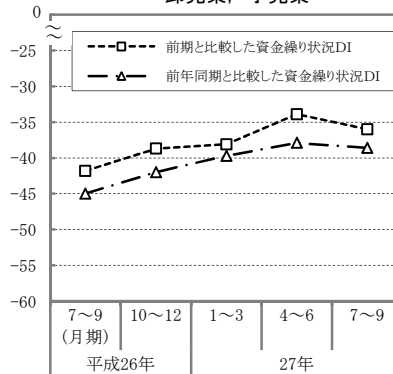
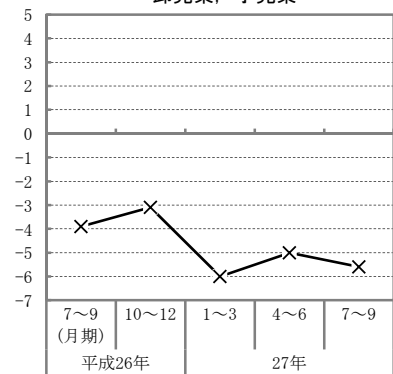


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業、小売業-



## 4 宿泊業、飲食サービス業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年7～9月期）の業況判断DIは(-)56.8で、前期（平成27年4～6月期）(-57.8)に比べ、1.0ポイント改善した。

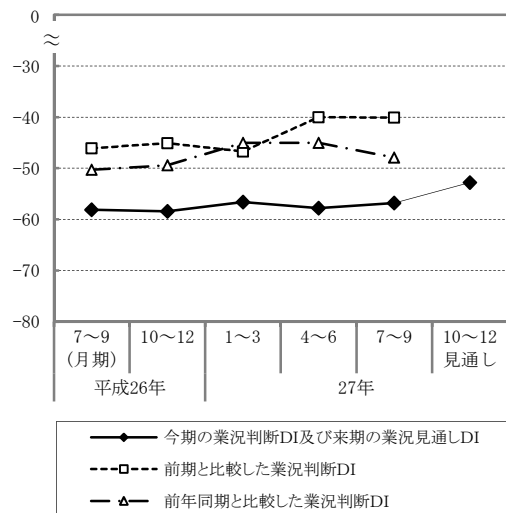
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)40.1で、前期(-40.0)に比べ、0.1ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成26年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)47.9で、前期(-45.0)に比べ、2.9ポイント悪化した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しDIは(-)52.8で、今期の業況判断(-56.8)に比べ、4.0ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

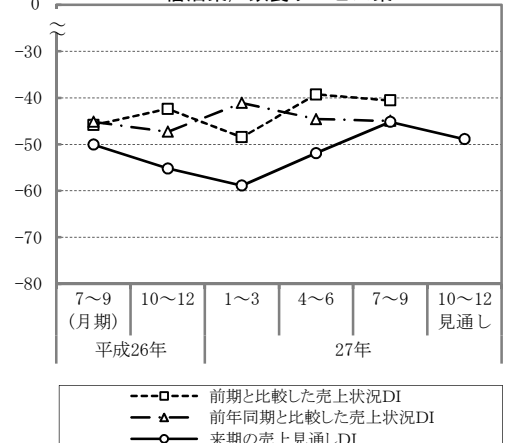
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)40.6で、前期(-39.3)に比べ、1.3ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)45.0で、前期(-44.6)に比べ、0.4ポイント悪化した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)48.9で、前期における今期の売上見通し(-45.2)に比べ、3.7ポイントの悪化の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

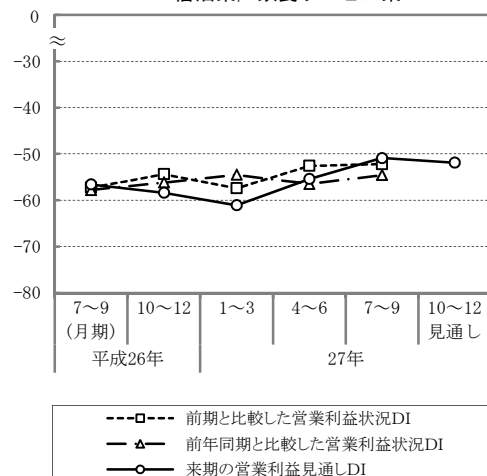
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)52.2 で、前期 (-52.6) に比べ、0.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)54.6 で、前期 (-56.5) に比べ、1.9ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)51.9 で、前期における今期の営業利益見通し (-50.9) に比べ、1.0ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (-)0.1 で、前期 (-0.9) に比べ、0.8ポイント「不足」が縮小した。

### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)38.9 で、前期 (-36.2) に比べ、2.7ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)43.1 で、前期 (-40.1) に比べ、3.0ポイント悪化した。

### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)8.6 で、前期 (-8.1) に比べ、0.5ポイント「不足」が拡大した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

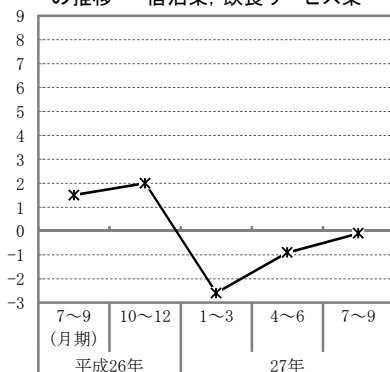


図25 資金繰り状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

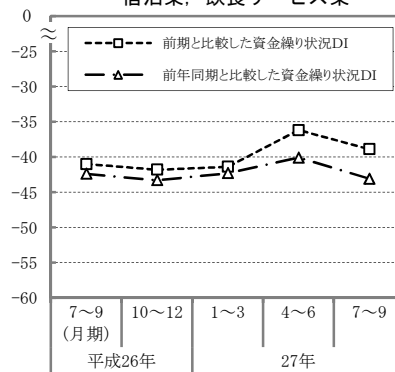
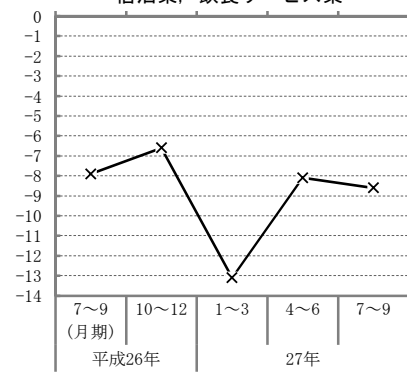


図26 雇用状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



## 5 サービス業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成27年7～9月期）の業況判断DIは(-)65.8で、前期（平成27年4～6月期）(-60.7)に比べ、5.1ポイント悪化した。

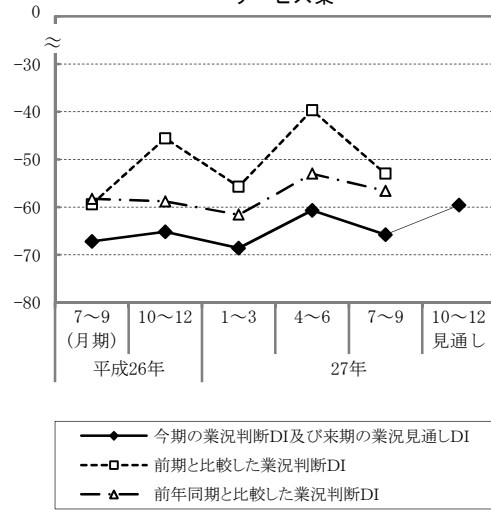
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)53.0で、前期(-39.7)に比べ、13.3ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成26年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)56.6で、前期(-53.0)に比べ、3.6ポイント悪化した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しDIは(-)59.6で、今期の業況判断(-65.8)に比べ、6.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移  
—サービス業—



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

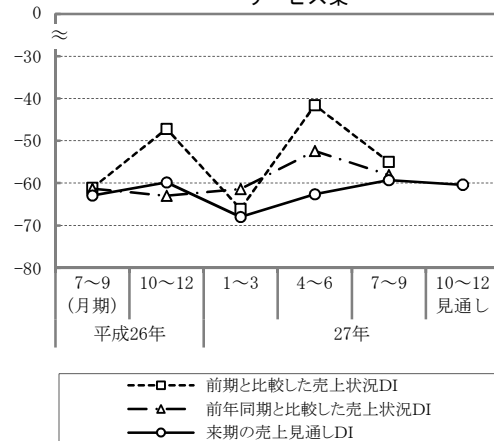
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)55.0で、前期(-41.6)に比べ、13.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)58.1で、前期(-52.4)に比べ、5.7ポイント悪化した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)60.4で、前期における今期の売上見通し(-59.3)に比べ、1.1ポイントの悪化の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移  
—サービス業—



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

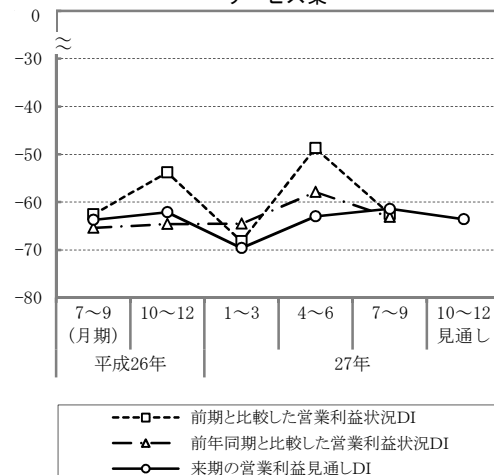
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)62.5で、前期(-48.7)に比べ、13.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)63.1で、前期(-57.9)に比べ、5.2ポイント悪化した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)63.6で、前期における今期の営業利益見通し(-61.4)に比べ、2.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移  
—サービス業—



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) $1.6$ で、前期(+ $0.3$ )に比べ、 $1.3$ ポイント「過剰」が拡大した。

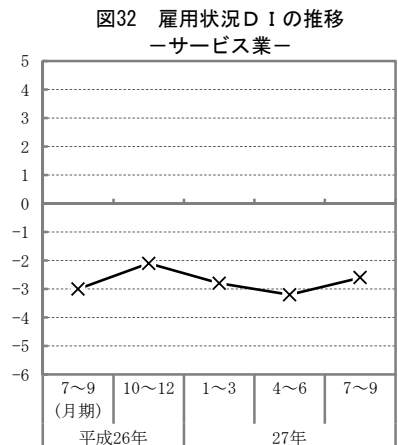
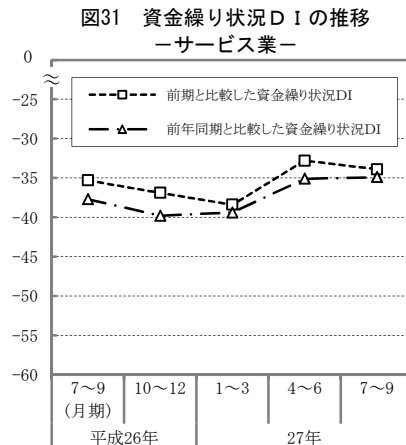
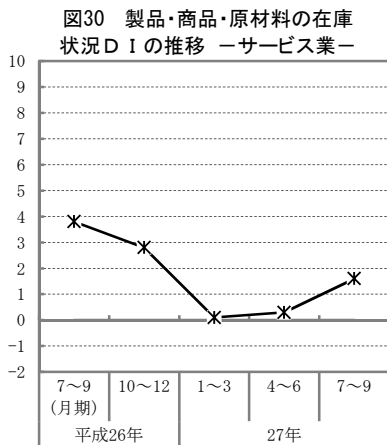
#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) $33.9$ で、前期(- $32.8$ )に比べ、 $1.1$ ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) $34.9$ で、前期(- $35.1$ )に比べ、 $0.2$ ポイント改善した。

#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) $2.6$ で、前期(- $3.2$ )に比べ、 $0.6$ ポイント「不足」が縮小した。



### Ⅲ 営業収支

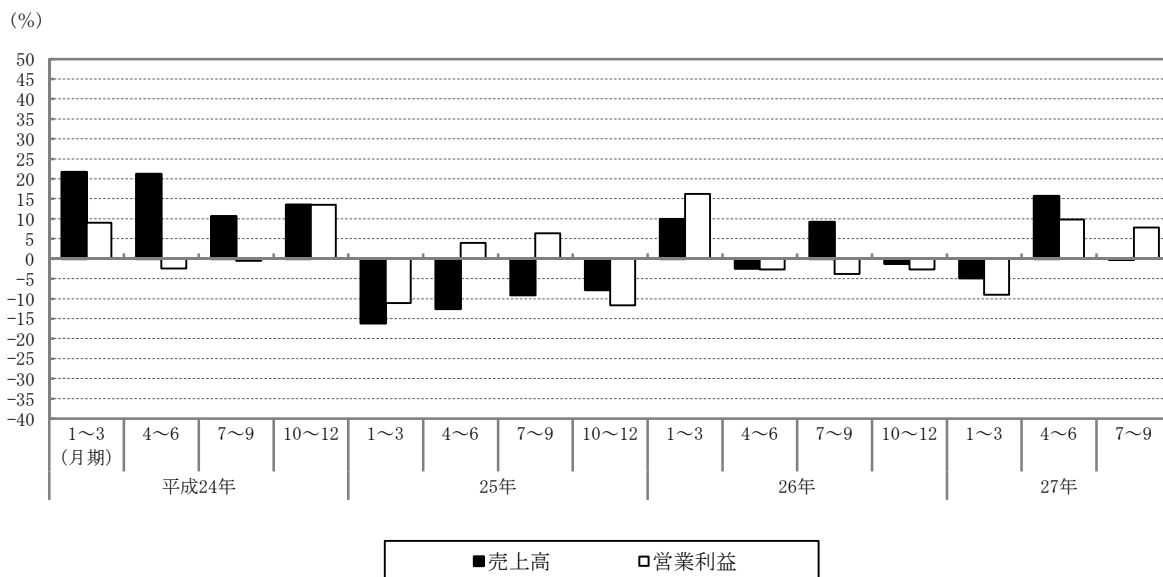
#### 1 製造業

##### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は231万円で、これに対する費用は売上原価が72万8000円、営業費が90万7000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は67万5000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)0.2%で、2期ぶりに減少した。また、営業利益は(+ )7.8%で、2期連続で増加した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 - 製造業 -

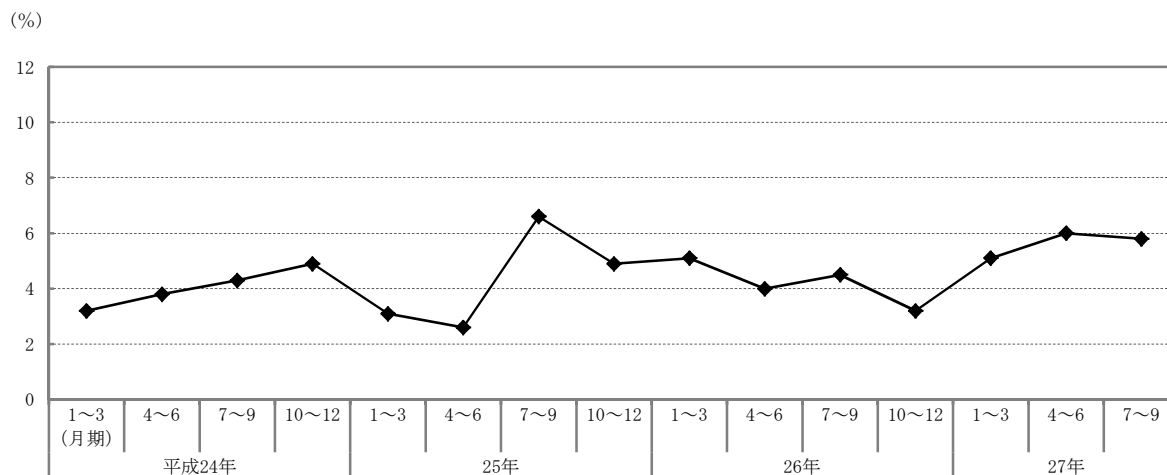


##### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は13万5000円で、前年同期(10万4000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は5.8%で、前年同期(4.5%)を1.3ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 - 製造業 -



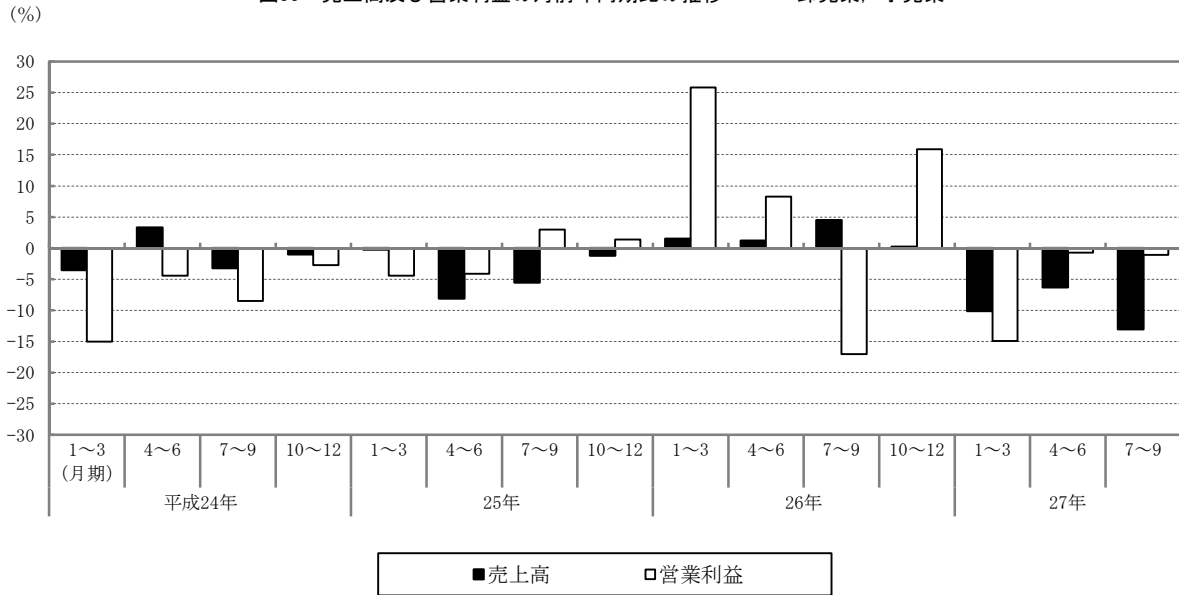
## 2 卸売業、小売業

### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は360万9000円で、これに対する費用は売上原価が246万3000円、営業費が78万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は36万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)13.0%で、3期連続で減少した。また、営業利益は(-)1.1%で、3期連続で減少した。

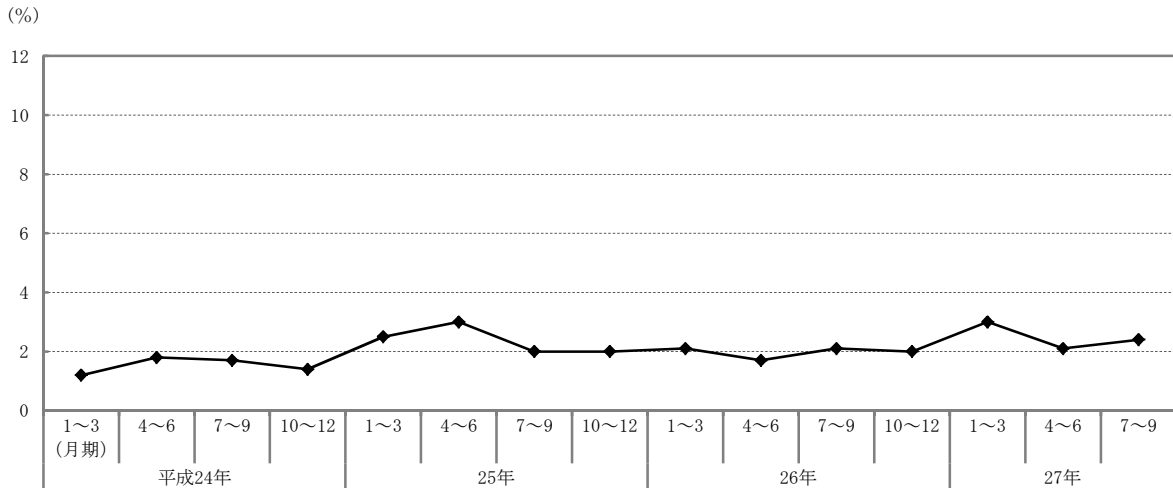
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —卸売業、小売業—



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は8万6000円で、前年同期(8万5000円)を上回った。また、設備投資率は2.4%で、前年同期(2.1%)を0.3ポイント上回った。

図36 設備投資率の推移 —卸売業、小売業—



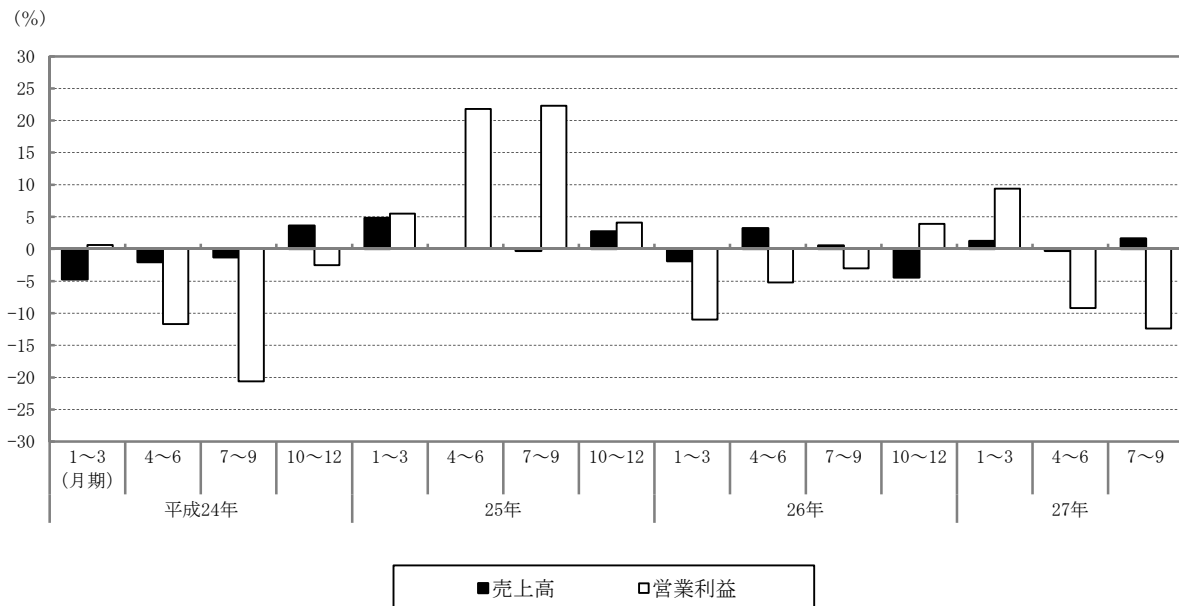
### 3 宿泊業，飲食サービス業

#### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は220万3000円で、これに対する費用は売上原価が95万7000円、営業費が87万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は36万8000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) $1.6\%$ で、2期ぶりに増加した。また、営業利益は(-) $12.4\%$ で、2期連続で減少した。

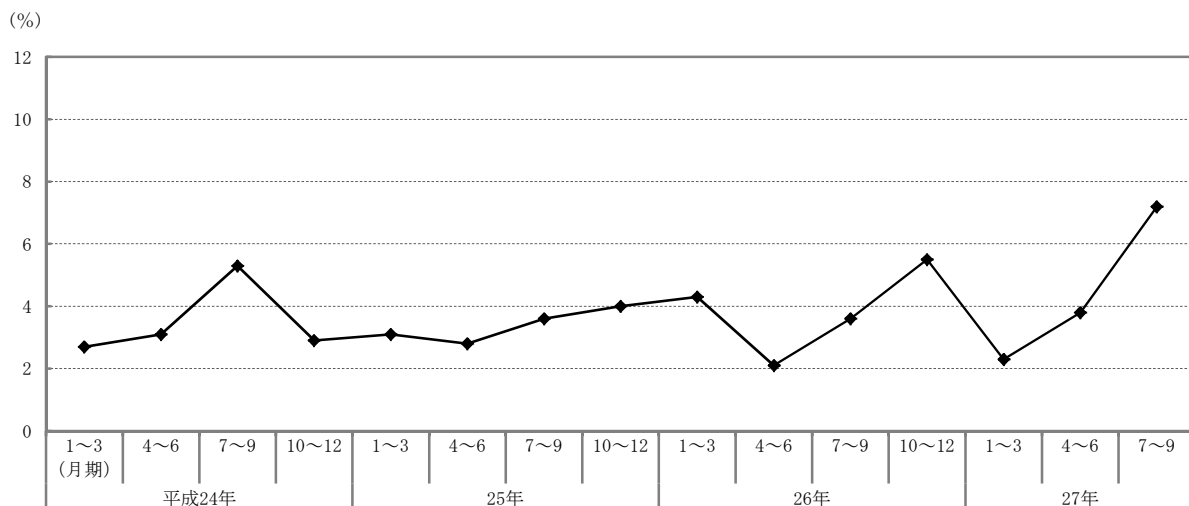
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



#### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は15万9000円で、前年同期(7万7000円)を上回った。また、設備投資率は $7.2\%$ で、前年同期( $3.6\%$ )を3.6ポイント上回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



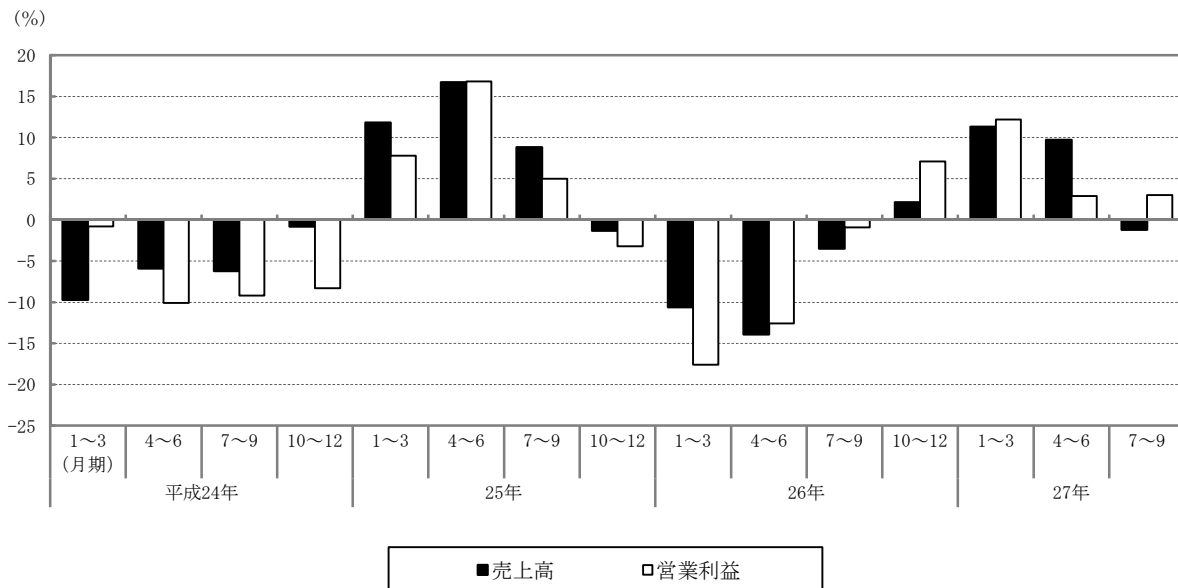
## 4 サービス業

### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は121万5000円で、これに対する費用は売上原価が18万2000円、営業費が58万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は44万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)1.2%で、4期ぶりに減少した。また、営業利益は(+ )3.0%で、4期連続で増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -サービス業-



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万7000円で、前年同期(4万円)を上回った。また、設備投資率は4.7%で、前年同期(3.3%)を1.4ポイント上回った。

図40 設備投資率の推移 -サービス業-

